

# 令和4（2022）年度 生涯学習・社会教育関係職員研修Ⅰ 実施報告②

実施日：令和4年5月20日（金）

第2回はオンラインで実施し、42名の方が参加しました。

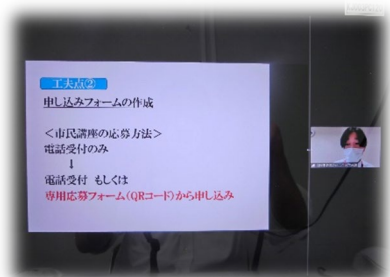
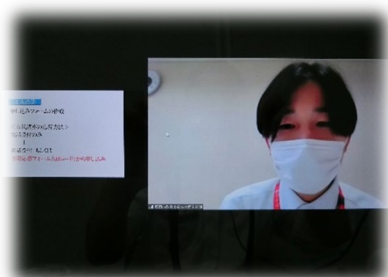
- 講話「生涯学習や社会教育について考える」 宇都宮大学生涯学習研究開発室教授 佐々木 英和 氏  
約2時間におよぶ佐々木先生の講話は、多岐にわたり示唆に富む内容であり、受講者にとって学ぶことの多い時間となりました。

はじめに、生涯学習が必要かつ重要な理由を受講者に考えてもらうことから始まり、生涯学習の内容を的確に把握するための手順、生涯学習をどのように整理するかについて説明がありました。続いて、生涯学習と社会教育との関係、生涯学習の中の社会教育の位置づけ、社会教育と学校教育との関係の新たな展開など、佐々木先生から提供された膨大な資料に基づいた講話となりました。また、今回はオンライン研修ということもあり、Zoomの投票機能を活用した研修の利点についての説明と実際に投票機能を使用する機会があり、受講者は様々なことを学ぶことができました。



- 事例発表「生涯学習の推進に携わって」 真岡市教育委員会事務局生涯学習課主事 岡本 拓真 氏  
岡本氏は真岡市役所に入庁以来、生涯学習課に勤務して4年目になります。それまでご自身が担当した業務について、その中で工夫した点、また、一昨年度から流行したコロナ禍でどのようなことを考えながら業務を続けたかなどの発表がありました。

公民館講座と出前講座については、講座内容と日程の検討から始まり、講師との打ち合わせ、講座の運営方法の協議、実施後は報告書の提出などについて説明がありました。その中で、受講者を募集する際に、受講者にとって見やすい、分かりやすい広報に務めたことなどに触れていました。また、出前講座の開催者側向けにコロナ感染症対策チェックシートを作成したことや公民館講座の応募方法について、従来の電話受付に加え、二次元コードから申し込む専用応募フォームを始めた話もありました。受講者にとって参考になることばかりで、自分の業務に生かすことができる内容となりました。



## ☆受講者の声（アンケートから）

- ・ 佐々木先生の講話では、教育とは引き出すこと、育むことという部分が印象に残りました。また、佐々木先生が伝えたいことを理解することができました。
- ・ 佐々木先生の講話を聞き、改めて自分の業務を考える機会となりました。
- ・ 真岡市では様々な講座を開設していることが分かり、参考になる部分が多々ありました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで  
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp